

自治協ニュース

文化祭特集

第0106特集号

発行者
八本松小学校区
住民自治協議会

R01. 11. 20

文化祭 一年間の成果集まる

各部門とも充実

文化部会

八本松ふるさと文化祭実行委員会（会長 岩西利丈）は10月20日（日）八本松地域センターで第9回八本松ふるさと文化祭を開催した。今年は大候にも恵まれ過去最高の1200人の参加者数を記録し大盛況となった。



中央幼稚園 猛練習の成果



八本松太鼓 スケールの大きい演奏



ピアノ連弾 演奏の様子がモニターに



セセディーユのお二人



「おおきくなったら」将来の夢を絵に
川上西部保育所

ステージは八本松中央幼稚園年長組の皆さんによるお揃いのほっぴ姿で元気に踊る「火炎太鼓」で始まり、最後は八本松太鼓の皆さんによる大きな和太鼓演奏で締めくくられた。中でも、昨年好評だった文化祭のサブテーマ「本物に触れる、何かが

生まれる」を本年度も継続し、現在、国内外でご活躍のクラシック音楽連弾ピアニスト奏者の青山佳子さんと富永やよいさん（グループ名 セセディーユ）を招き演奏していただいた。わらべ歌の優しい音色で会場の皆さんを魅了し、ピアノ演奏の細やかな指使いが大型のモニターに映し出され、子ども達も食い入るように見ていた。

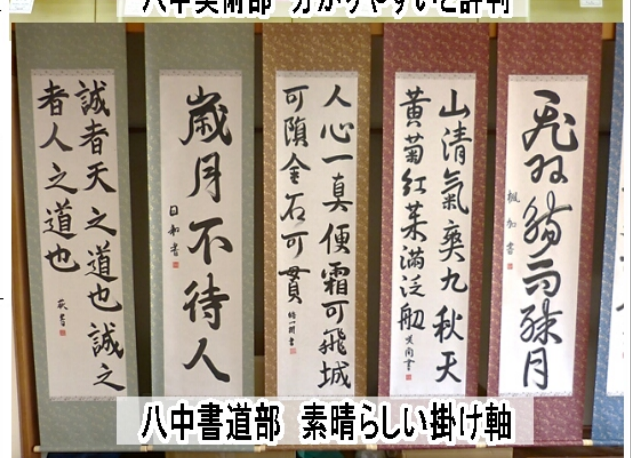
また、展示では川上西部保育所幼児の「おおきくなったら」、八本松中学校生徒のすばらしい書道と水彩画、八本松88石仏の会の昨年の土石流と石仏被害の貴重な情報展示、紙ふうせんの会の心温まる多くの絵手紙作品、生け花教室の心落ち着く作品等、地域の皆さんの一年間の文化活動の成果が発表される。

最後に閉会の挨拶で、土肥八本松小学校校長は「文化と歴史、芸術にふりかかると、パワーをいただきます。一年間の成果を地域の多くの方に見ていただくことは大変素晴らしいことです」と述べ、文化祭を終了した。



今年もバザー順調です

文化活動 一年間の成果



みんなで作る文化祭

